

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【399】

2. 日時：令和5年2月17日 10時00分～11時10分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江崎企画調査官、千明主任安全審査官、
津金主任安全審査官、中村主任安全審査官、三浦主任安全審査官、
服部(靖)安全審査専門職、谷口技術参与、植木技術参与

技術基盤グループ

小林技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他17名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力建築室 課長※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁のチギラです。今野原子力発電所 2 号機、設工認のヒアリングを始めます。本日午前中の説明項目は耐震計算書、建物構築物の原子炉建物基礎スラブ、燃料プールとなります。
0:00:16	それでは、資料の説明と、
0:00:19	ヒアリング進め方について説明をお願いします。
0:00:24	中国電力の落合です。それではまず資料の確認。
0:00:27	と番号取りをさせていただきます。資料につきましては、全部で六つございます。提出日につきましては基本的に月 13 日になっておりまして一部過去の
0:00:38	ものは、再提出させていただいております。
0:00:42	まず、資料番号 N-S2 の他の 267 回 02、これを資料番号 1 番とさせていただきます。
0:00:50	それから N-S に No. 2-009-19 これを資料番号 2 番とさせていただきます。
0:00:57	それから N-S2 の方の 025-11 回 02、これを資料 3 番とさせていただきます。
0:01:04	ここまでが、基礎スラブに関するものです。それから、N-S 新野他の 313、これを資料番号 4 番とさせていただきます。
0:01:12	それから N-S2-添 2-004-02、これを資料番号 5 番とさせていただきます。
0:01:19	それから N-S2 の方の 025-08 回 01、これを資料番号 6 番とさせていただきます。資料は以上三つですけれども、おそろいでしょうか。
0:01:30	はい。資料の方確認できました。
0:01:35	はい。中国電力の落合です。それでは進め方についてですけれども、
0:01:40	本日この六つの種類、六つの資料につきまして通しでご説明させていただこうと考えております。説明事項についておよそ 20 分程度を予定しております。
0:01:50	いかがでしょうか。
0:01:53	はい、わかりました。ではその進め方をお願いします。
0:02:03	中国電力吉川です。それではまず基礎スラブのほうから説明させていただきます。
0:02:08	資料 3 番をご用意ください。
0:02:12	資料 3 番の 2 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:16	2 ページは補足説明資料の目次となっております、赤枠で囲っている範囲が本日の説明範囲となります。
0:02:24	3 ページをお願いいたします。
0:02:28	資料 2-1 は詳細設計申し送り事項ナンバー26 棟、No.35 の回答となる資料でありまして、
0:02:35	基礎スラブの応力解析モデルでモデル化している壁に発生する面内せん断力と面外せん断力に対する評価を行っているものになります。
0:02:45	10 ページをお願いいたします。
0:02:50	面内せん断力に対する評価は、エネルギー低速を適用し、応力解析モデルの壁に発生している応力を抗力を考慮した耐震兵器のせん断ひずみを算定し、
0:03:02	許容限界である 2000 マイクロ、
0:03:05	2000 マイクロを超えないことを確認いたします。
0:03:09	11 ページをお願いいたします。
0:03:13	11 ページの図は、積層シェル要素でモデル化した壁に発生する応力の考慮方法を示した図になります。
0:03:20	図に示します通り、
0:03:22	角田井関のスケルトンプロットエネルギー低速で、弾性直線時、
0:03:28	弾性直線の延長線上にプロットし、
0:03:31	そこに積層シェル要素で発生しているせん断力を加算します。
0:03:36	そこから再びエネルギー低速で、各耐震平均のスケルトン曲線上に戻すことで、
0:03:42	瀬、
0:03:44	シェル要素で発生する応力を考慮したひずみを算定しています。
0:03:49	12 ページをお願いいたします。
0:03:52	こちら、こちらは先ほどの説明と同様に
0:03:59	広さでモデル化した壁に発生する応力を考慮した。
0:04:03	ひずみの算定方法の概念図になります。
0:04:07	考え方としましては先ほどシェル要素で申し上げた内容と同様となります。
0:04:14	なお梁要素の評価につきましては、二次格のするバウンダリを構成する内部セイキをモデル化した範囲を対象としておりまして、
0:04:22	発生する応力はすべて、1 階部分、EL15.3 メーター部分に加算することとしております。
0:04:30	15 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:34	こちらの表が、
0:04:38	基礎スラブの
0:04:39	モデルにおいて壁、木曾須田部のモデルにおきまして、壁に発生する応力を考慮した剪断ひずみ算定、
0:04:50	結果になります。
0:04:52	表の一番右側が、
0:04:57	壁に発生している応力を考慮した、
0:05:01	裁断腺癌居組の値となっております。
0:05:04	最大値はNS方向の栄養素番号 18、表の真ん中あたりになりますが要素は、番号 18 の 0.92×10 のマイナス 3 乗が最大となりまして、
0:05:16	こちらの値が許容限界ひずみを下回っていることを確認しております。
0:05:21	ページ戻っていただきまして 13 ページをお願いいたします。
0:05:29	面外せん断に対する評価におきましては、積層性要素に発生する、面外せん断応力度がコンクリートの短期許容応力度、
0:05:38	短期許容せん断応力度を超えないことを確認いたします。
0:05:43	18 ページをお願いいたします。
0:05:48	図 3-3 は、
0:05:50	面外せん断応力度が最大となるRh通りの壁のコンター図となります。
0:05:56	面外せん断応力度の最大値は 0.70705 ニュートン%スクエアミリメートルであり、
0:06:03	コンクリートの短期許容せん断応力度を下回っていることを確認しております。
0:06:08	別紙 2-1 の説明は以上となります。
0:06:12	続いて 20 ページをお願いいたします。
0:06:15	20 ページは別紙 3 となっております。こちらの資料につきましては前回のヒアリングで説明しておりまして、その際にいただいた
0:06:25	コメントに対する回答をご説明させていただきます。
0:06:29	25 ページをお願いいたします。
0:06:34	前回のヒアリングでは、基礎上端に発生するせん断力による深めんすか曲げモーメントを考慮しているか確認して説明することというコメントをいただいております。
0:06:45	基礎スラブの応力解析におきましては、負荷曲げモーメントを地震時動圧荷重として考慮しておりましたので、そのことがわかるように、図 2-1 にMA' として、付加曲げモーメントを追記しております。
0:06:59	江部さんの説明は以上となります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:02	続いて、35 ページをお願いいたします。
0:07:07	35 ページからが別紙 3-1 となっております、別紙 3-1 は、詳細設計申し送り事項No. 34 の回答に対応する資料となっております。
0:07:19	今回工認ケースでは、D/W外側壁で、地震力を破綻する設計としておりますが、本資料では、原子炉本体基礎等の反力が基礎スラブに直接作用する。
0:07:31	することを考慮しまして、
0:07:33	D/W外側壁及びその内側に地震力を分散して入力した場合の評価を行っているものになります。
0:07:42	46 ページをお願いいたします。
0:07:48	本評価における解析ケースは、今回工認ケースで検定値が最も厳しい値となったケース 1 としておりまして、その部分をハッチングで示しております。
0:08:02	47 ページをお願いいたします。
0:08:06	図 3-2、地震荷重のうち、水平力と曲げモーメントの荷重図を示しております。
0:08:12	図に示します通り、本検討ではD/W外壁とその内側に荷重を分散して入力しております。
0:08:21	これ以外の解析条件につきましては今回工認ケースと同じになっております。
0:08:27	56 ページをお願いいたします。
0:08:34	こちらが、
0:08:36	評価結果になります。江川が荷重を分散したケース、表の下側が今回工認ケースの結果となっております。
0:08:45	原子炉本体基礎等の管力が基礎スラブに直接作用していることを考慮して、荷重を分散した荷重を分散入力した場合、発生値は今回工認係数よりも小さくなる傾向があり、
0:08:56	いずれも許容値を下回っていることを確認いたしました。
0:09:00	別紙 3-1 の説明は以上となります。
0:09:04	続いて、58 ページをお願いします。
0:09:08	別紙 4、こちらも前回のヒアリングで説明させていただいておりますの際に、
0:09:14	基礎スラブの配筋状況がわかりにくいというご指摘をいただきましたので配筋状況がわかる図を追加しております。
0:09:22	68 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:30	68 ページに、図 2-2 として、基礎スラブの配筋を示す平面図と断面図を追加しております。
0:09:39	またベッショにつきましては記載の適正化を行っておりますが、こちらは説明を省略させていただきます。
0:09:46	別紙専用の説明は以上です。
0:09:50	続いて 72 ページをお願いいたします。
0:09:54	72 ページ目からが別紙 5 となっております、別紙 5 は、詳細設計申し送り事項ナンバー25 の該当となる資料となります。
0:10:04	内容としましては、壁の塑性化を考慮した基礎スラブの評価結果を示すものとなっておりますが、
0:10:10	この評価方法につきましては、以前タービン建物でご説明させていただいて、いただいたものと基本的に同じとなっておりますので、本日はリアクターの結果のみ説明させていただきます。
0:10:24	81 ページをお願いいたします。
0:10:28	こちらはリアクターの面外せん断力のコンター図になっておりまして、
0:10:35	上側が今回工認モデル、下側が壁の塑性化を考慮した場合の検討結果になっております。
0:10:45	壁の
0:10:46	塑性化を、
0:10:48	考慮した方が、面外せん断力は大きくなっておりまして、
0:10:53	許容面外せん断力を下回っている、おり、田井先生への影響はないということを確認しております。
0:11:00	別紙 5 の説明は以上です。
0:11:03	続いて、83 ページ。
0:11:05	別紙 7 の説明に移ります。
0:11:10	基礎スラブの応力解析では、設計地下水を基礎スラブの下場から 0.8 メートル高い位置に設定しておりますが、
0:11:18	地盤の支持性能に関わる係る基本方針を示す、浸透した場合より低い位置となっており、なっていることから、
0:11:30	別紙 77 では、浸透流解析結果に基づきまして、浮力を飛行量とした場合の新規に基づきまして、F1 コウゲの結果をまとめております。
0:11:42	90 ページをお願いいたします。
0:11:45	3 ポツ 2 に記載している通り、
0:11:49	本検討では浮力を 0kN%スペアメーターに設定し、
0:11:54	しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:55	また、その他の荷重条件につきましては、今回工認ケースのものと同じものを用いております。
0:12:05	94 ページをお願いいたします。
0:12:10	浮力を非コールドした場合の検討ケースですが、
0:12:14	今回工認定数において鉛直上向き及び鉛直下向きの中で検定値が最も厳しい値となったケースとしておりまして、該当ケースをハッチングしております。
0:12:29	102 ページをお願いいたします。
0:12:33	102 ページの表が、評価結果となっております、上側が風力を飛行ルートした場合、下側が今回工認ケースの値となっております。
0:12:43	風力飛行量とした場合発生値は今回工認ケースよりも小さくなる傾向がありまして、いずれも許容値を下回っているということを確認しております。
0:12:53	別紙 7 の説明は以上です。
0:12:57	続いて、104 ページ。
0:12:59	別紙 8 の説明に移ります。
0:13:03	別紙 8 は、詳細設計申し送り事項No. 37 の回答に対応する資料となっております、
0:13:11	弾性設計用地震動SDSDによる評価を行った結果をまとめておりまとめているものです。
0:13:21	106 ページをお願いいたします。
0:13:26	106 ページの概要に、
0:13:28	がん性設計地震動SDニューによる評価を行う経緯を記載しております。
0:13:35	今回工認におきましては、施設の分類を踏まえまして、
0:13:39	原子炉建物基礎スラブは、基準地震動精選による地震づくりに対する評価を行っております。
0:13:46	一方既工認では、基準地震動エスワンまたは静的地震力のいずれか大きい方の地震力に対する評価を行っていることから、
0:13:56	その評価に相当する、弾性設計地震用地震動SDまたは静的地震力のいずれか大きい方の地震力に対する評価を、本資料で行っております。
0:14:06	なお参考となりますが既工認におきましては温度荷重の組み合わせは、組、温度荷重を組み合わせた評価は実施しておりません。
0:14:17	111 ページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:24	地震応答解析による評価におきましては、SD地震時の最大接地圧が、地盤のきよ、短期許容支持力度 0.6、
0:14:37	6.4×10^{-30} キロニュートンパースクエアメートルを超えないことを確認いたします。
0:14:45	118 ページをお願いいたします。
0:14:53	118 ページには、応力解析における許容限界を示しております。
0:14:59	応力解析による評価におきましては、部材に発生する応力が弾性限強度を超えないということを確認いたします。
0:15:11	119 ページをお願いいたします。
0:15:15	119 ページは解析モデルについて記載しております。
0:15:21	で、FFの評価に、
0:15:23	Ss地震時の評価におきましては、弾塑性会で応力解析として、ABAQUS解析コードABAQUSを使用しておりますが、
0:15:31	SD地震時の評価におきましては、弾性応力解析としまして、解析行動にはNASTRANを使用しております。
0:15:39	ただし、そのその他モデル化の範囲等の条件につきましてはSs-S、Ss地震の、
0:15:47	阿波ガスモデルのものと同様としております。
0:15:53	126 ページをお願いいたします。
0:15:58	126 ページに示している表、表、表 5-1 が、地震応答解析による最大接地率を示しております。
0:16:09	表 5-1 に示します通り、
0:16:11	SD地震時の最大接地圧はNS方向の 1.33×10^{-30} キロニュートンパースクレーパメートルであり、
0:16:20	地盤の短期許容支持力度を超えないことを確認しております。
0:16:26	134 ページをお願いいたします。
0:16:34	表 6-2 は応力解析。
0:16:36	応力解析による評価結果を示し、お示しております。
0:16:41	表 6-2 に示します通り、SD地震の必要鉄筋及び面外せん断力が、許容値を超えない超えていないことが確認できます。
0:16:52	以上からSD地震時の
0:16:54	田井先生について確認することを、ができております。
0:16:59	資料 3 の説明は以上となります。
0:17:04	また、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:05	資料一番基礎スラブの回答整理表につきましては、これまで説明した内容と重複するため説明は省略させていただきます。
0:17:16	続きまして燃料プールの説明に移ります。
0:17:20	資料 6 番をご用意ください。
0:17:25	資料 6 番、
0:17:27	のが、燃料プールの方、
0:17:31	耐震計算書の補足説明資料となっております。
0:17:34	資料 6 番の 2 ページをご覧ください。
0:17:38	2 ページが補足説明資料の目次となっております赤枠が本日の説明範囲となっております。
0:17:45	このうち、別紙 4 番につきましては、
0:17:49	資料 4 番の回答、記載の適正化、資料 4 番に示す記載の適正化のみの反映となっておりますので、
0:17:57	説明は省略させていただきます、別紙 5 から説明させていただきます。
0:18:04	22 ページをお願いいたします。
0:18:09	22 ページからが別紙 5 となっております、別紙 5 は、燃料プールの構成ラインのひずみに対する評価を行っている資料となります。
0:18:20	25 ページをお願いいたします。
0:18:25	25 ページ、25 ページの三楽 3 段落目に記載しておりますが、
0:18:32	構成ライナーはコンクリート躯体に追従するため、先行サイトの評価方法と同様に、コンクリート塩ショウジュ主ひずみを構成第 2 ショウジュ、ショウジュ主ひずみとみなして評価を行っております。
0:18:47	26 ページをお願いいたします。
0:18:51	構成ラインひずみの許容値につきましては、CCV規格を準用しまして、
0:18:58	こちらの 3 行目に示す値を許容値として設定しております。
0:19:05	27 ページをお願いいたします。
0:19:09	27 ページの表の 4-1 に評価結果をお示しをし、示しております。
0:19:15	生来の最大主ひずみは、CCV規格を準用した許容値を大きく下回っているということが確認できます。
0:19:25	以上のことから、構成ライナーの健全性を確認しております。
0:19:29	市ベッショの説明は以上となります。
0:19:33	続いて、
0:19:35	29 ページ。
0:19:37	をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:41	燃料プールの耐震計算書におきましては、使用済み燃料貯蔵ラックを積載荷重として扱っており、地震荷重も積載荷重として設定しております。
0:19:51	一方使用済み燃料通常ラックの耐震計算書におきましては燃料プールの底面スラブに作用する地震時ラック反力が算定されていることから、
0:20:00	こちらの別紙 6 では、使用済み燃料II貯蔵ラックの地震時反力を考慮した場合の、燃料プールの耐震評価を行っております。
0:20:11	35 ページをお願いいたします。
0:20:17	35 ページの表 3-1 に、燃料プールの応力解析に考慮する、受振 10 ラック反力を整理しております。
0:20:28	表の値は反力が最大となる共通ベースのものを示しておりまして、本検討で保守的にこの値をすべてのベース位置に採用させております。
0:20:39	こちらのラック反力以外の荷重条件、解析条件につきましては今回購入ケースのものと同じとなっております。
0:20:48	48 ページをお願いします。
0:20:57	48 ページに示します表は、受診ジラク反力を考慮した場合の評価結果になります。
0:21:04	いずれの評価項目においても、発生値が許容値を下回ってはい。
0:21:10	いるということを確認いたしました。
0:21:13	なお表の一番下に示す。
0:21:15	底面スラブの面外せん断力につきましては、注記で記載の通り、応力の平均化を適用しております。
0:21:23	別紙 6 の説明は以上となります。
0:21:27	続いて 51 ページをお願いします。
0:21:33	別紙 6-1 は今ほどお伝えご説明しました通り、TMSL部の面外せん断力で応力平均化を適用していることから、その内容を示した資料となっております。
0:21:46	54 ページをお願いいたします。
0:21:50	表 2-1 に、検定値が 1 を超えた要素を整理しております。
0:21:55	本資料でこれらすべての要素に対して応力平均化を行っておりその行っております。
0:22:05	57 ページをお願いいたします。
0:22:09	57 ページの図の赤色で示している部分が、先ほど示しました応力平均化を行っている要素の位置を表しております。
0:22:20	61 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:26	こちら応力平均化の範囲を示して示した図となっております、応力平均化範囲は、底面サーバーサノ1杯である、2.03名と、2.03メーターまでとしまして、
0:22:39	までとしております。
0:22:42	応力平均化は図2-6に示す汎用性に対しまして面積の重み付け平均を行っております。
0:22:51	67ページをお願いします。
0:22:57	表2-4が、応力平均が、を行った後の発生値、許容値検定値の一覧を示したものとなっております。
0:23:07	表に示します通り、応力平均化後は、いずれも検定値が1を下回っているということが発見できます。
0:23:17	別紙6-1、6、別紙6-1の説明は以上となりまして電力側からの資料説明は以上となります。
0:23:26	はい、規制庁の干渉です。それでは、今説明があった内容について確認をしていきたいと思いますが、
0:23:35	まず
0:23:37	資料の1行って、当間。
0:23:40	齋藤整理表、整理していただいているこちらコメント、仮刈り取りの管理とかですね、とか、
0:23:51	そういった関係もありますので、
0:23:53	今日、今回回答としているものについてですねちょっと一つずつ確認をしていきたいというふうには思っております。
0:24:08	中国電力安川です承知いたしました。
0:24:12	ええ。でははい。こちらで進めます。ではまず、もちろん詳細設計申し送り事項のナンバー25。
0:24:23	については、こちらについては今回回答いただいた内容で結構かと思っておりますので、了といたします。
0:24:38	規制庁の三浦です。
0:24:40	確認をしていきます。
0:24:43	し、申し送り事項の26番、
0:24:50	これあれですね、
0:24:53	影響。
0:24:55	明確に答えられてると今の説明で明確に答えられたもので、もうと考えられますので、26番は了解ということになります。
0:25:06	あと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:08	申し送り事項の 34 番ですか。
0:25:13	34 番、
0:25:15	これについては、
0:25:18	原子炉基礎本体基礎、この反力どういう考慮してんだっていう話なんです すが実際には基礎スラブ上に、
0:25:25	内部コンクリートかなり動く強い負熱く打たれてるので、結局それを分散 して、
0:25:33	内部にですね、D/W外壁内部に分散して、
0:25:38	影響検討してみた。その結果照査結果っていうのにおさまりますとい う説明だったと思うんですが、
0:25:46	一つそこでちょっと確認をしておきたいんですがその分散の仕方って いうのはどういうふうにやられたんですか。
0:25:58	中国電力吉川です。
0:26:00	分散としましては設定の支配面積に応じて分散しております。以上で す。ねえ。そうだと思ったんですが。そうすると、資料 3 番の 45 ページ かな。
0:26:14	世帯に分散入力するというふうに考えて書いてあるだけなので、ここは 面積に応じて分散配置をするというふうに明記をしておいていただけま すか。
0:26:27	中国電力吉川です。
0:26:29	ご指摘理解しましたこちらの記載どのような分散をしてるのか、明記し たいと思います。以上です。はい。お願いします。次は申し送り事項の 35 番。
0:26:41	ですか。
0:26:42	これはあれですね、積層シェルラーでモデル化したやつで等価せん断 的な考え方で剛性を落としたというんで、そういうやり方であって、
0:26:53	発生応力を見ても、ほとんど変わらないと、おそらく、
0:26:57	耐震髭の剛性テイカーというよりは僕ボックス効果の方が、基礎スラブ の拘束には効いているので、結果としては変わらないと、いうふうに理 解したんですがそういう理解でよろしいですか。
0:27:13	中国電力吉川です。ご理解のご認識の通りかと思えます。以上です。そ れでね、これ、
0:27:21	先週でしたっけねちょっとご説明があった時に当たったんだけど、
0:27:25	上部の壁とか床スラブ小関ソーシャル用いてますよね。結局、積層シェ ルにしているんだけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:34	塑性化は全く考えていなくて、弾性でやってるということで、
0:27:39	その辺のところですね、
0:27:42	この書類の中にもですね、
0:27:44	記載をしといていただけますか。
0:28:07	中国電力ヨシカワで少々お待ちください。はい。
0:28:54	お待たせいたしました中国電力吉川です。
0:28:57	衛藤史料。
0:29:00	3 番の 6 ページをお願いいたします。
0:29:04	6 ページの下から、
0:29:07	4 行目部分。
0:29:11	4 行目から、
0:29:13	3 行目にかけては弾性部材という記載はしておりますが、
0:29:18	なぜ弾性にしたかという記載はしておりませんので、衛藤瀬古先日ご説明した通りV&Vの関係で、弾性部材にしているということも、こちらの資料に記載したいと思います。以上でわかりましたそうですね。
0:29:34	あとその資料例えば 3 のね、77 ページかな。
0:29:39	ハロー。
0:29:45	ここも 77 ページからにもモデルの話ありますよね。
0:29:51	だからこれの部分にもちょっとしつこいかもしれないけれども、
0:29:56	上部については、
0:30:00	セイキsocialでモデル化してるけど弾性でやってるっていうことは、ちょっと明記をしておいてください。
0:30:09	中国電力吉川です。承知いたしましたところの別紙 5 の方の資料の中、資料についても、弾性部材であるということを記載したいと思います。はい、それで結構です。お願いします。
0:30:21	次が、
0:30:25	今どこまで言いました。
0:30:29	35 で、次は 37 ですね。
0:30:33	37 については今ご説明なられたように、既工認で、
0:30:38	これ相当ということで、それに対して検討やってるんで、今回SDに対して検討しましたと。
0:30:45	ただし、既工認から、温度荷重は考慮していないので、地震だけの検討を今回行いましたっていうことで理解しました。それでいいですね。
0:30:58	中国電力吉川です。ご理解の通りです。以上です。はい。主資料として、どういう意味があるかってのまた問題なんですけど、一応コメントに

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:08	指摘事項に対しては答えられるということですので全て了解ということになります。
0:31:14	では等が、
0:31:17	ヒアリング、
0:31:20	Dのコメント、ナンバーワンですか。
0:31:23	これドアツーについて。
0:31:28	低迷 2、木曾川に生じるせん断力に対する負荷モーメントも今回加えますと。
0:31:34	ということで、資料 3 の、
0:31:37	25 ページですね。
0:31:39	ここに、下の図に永久に対して、付加モーメントMも加えてますと。
0:31:45	ということのをまずお示しいただいたんですが、
0:31:49	これ 23 ページのね、一番下の部分に、地震動飛鳥中に、
0:31:56	により基礎スラブに作用する荷重ってことでここ説明されてるんですがここも、
0:32:01	この図と同じように、宇和場で生じてる給に対しての負荷モーメントを加えたという説明をしておいたらどうですか。そうすつとずっと説明が一致すると思うんですがいかがですか。
0:32:17	中国電力安川です。
0:32:21	ご指摘ありがとうございます。ずっと文書が対一で対応しておりませんでしたのでこちらは文章の方も修正させていただきたいと思います。はい。お願いします。
0:32:32	一応、指摘事項、申し送り事項等ヒアリングの指摘事項というのは、
0:32:39	ちょっとここも語句の修正を、洞爺追加はあると思うんですが、基本的にすべて了解という方で、審査側は了解です。
0:32:52	で、
0:32:54	今回ちょっともう 1 回、資料をちょっとナガイさせてもらってですね、気になったところだけ次ちょっと言っておきます。
0:33:02	資料 3 の 68 ページ。
0:33:08	非常にBWR系の木曾SERPの背景で非常に複雑なので、
0:33:14	ちょっと詳細な図をつけてくださいということで今回、
0:33:19	68 ページにつけていただいたんですが、
0:33:23	これ、解像度が悪くてよく見えないんですよ。
0:33:27	これもちょっと改善することできないですか。
0:33:37	中国電力吉川です。衛藤。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:41	はいどうぞかなり良くするというのはちょっと難しいかもしれないんですけども、今ちょっと図が、府平面図断面図で、ページ、同じページに収めていますのでこちらを分けるなどして、ページを開けなどして図を大きくして、
0:33:55	より見やすいようにし、工夫したいと思います。以上です。はい。ちょっとなかなか難しいだろうなとは思ったんですけど。
0:34:03	ちょっと図を大きくするような形で少しでも、少しやっぱりこう読み取れるようにはしておきましょう。
0:34:15	杉部は、
0:34:17	当初やっぱり資料3の118ページ。
0:34:23	ここで、表4-8なんですけど、
0:34:28	これ、先日のヒアリングだとかちょっと覚えたらあれだ、中央制御室の清中央制御室待機室か何かの、
0:34:38	ときに、ちょっとこのことを言ったと思うんですが、
0:34:41	表4-8の下の注記ですよね。これ一、ちょっともうちょっと丁寧に書けませんが、
0:34:48	その時の話では、設計で用いる材料強度は、上記、短期許容応力度を1.1倍して、
0:34:56	適用するとか、そういう言葉にしましょうということで、先日、ヒアリングの際にちょっと申し上げたんですが、
0:35:05	それについてはすべて、他の図書も記載があるところは展開しておいていただけますか。
0:35:15	中国電力吉川です。
0:35:17	ご指摘、理解しましたすべての、今日、資料2でこのような記載をしている部分は共通してご指摘を受けたものを踏まえて、記載を見直したいと思います。はい。図書館で、整合をちゃんと取っといってください。お願いします。
0:35:33	それと燃料プール、
0:35:36	英語版の資料ですか。
0:35:41	この35ページ、ごめんなさい、33ページだな。
0:35:47	うん。
0:35:47	この間ちょっとお聞きしたんですけど、結局あれですよCCBに従って10日間苦慮く一で算定してると。
0:35:55	ということで、そういうことでよろしいんですよね。
0:36:04	中国電力吉川です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:06	衛藤。
0:36:08	48、資料の6番の48ページをご覧ください。
0:36:14	こちら評価結果の表になりますけども、こちら先日ご説明した内容とちよつと、同じことを申し上げることになりますけど、
0:36:23	例えば南側壁の一番上ですと、
0:36:27	評価項目の左側の方に軸力+曲げモーメントプラス面内せん断力というふうに記載させていただいております。
0:36:34	このように軸力の中にちよつと曲げモーメントが入っておりますが軸力プラス面内せん断力というような、
0:36:41	記載になっている部分は、これは等価軸力になっているというふうにご理解ください。わかりました。うん。
0:36:51	うん続けてください。
0:36:54	で、その下側の軸力、圧縮応力度と書いてあるところ、こちらは軸力プラス面内せん断力というふうに記載をさしておりますので、
0:37:04	こういったふうに、このように軸力のみ記載されている部分は、普通、衛藤釜等果樹局でない普通の軸力だと誤認し、ご理解ください。うん。わかりました。
0:37:15	面内せん断というのが入ってる場所は10日軸力を使ってるっていうことですね。
0:37:21	膜力っていう表現には少しね、さっきの出たところ、
0:37:27	資料5-35ページなんか、等価膜力ってまずCCVはもうこういう書き方してるんだけど実際に使用済み年度プールか何かに用いた時はこれ等価熱慮くうなのかもしれないですけどまあそれは、
0:37:40	CCVはそう書いてるんで、それでOKです。
0:37:44	今ちよつと
0:37:47	資料6の48ページですか。
0:37:50	これで一番下の面外せん断力、これも居る平均力一の値を使ってますよねっていうことで、御説明がおられたんです。
0:37:58	これ応力平均化前の数字入れときませんから括弧で、
0:38:14	中国電力吉川です。書ご指摘承知いたしました。
0:38:18	括弧書きで平均化前の値がわかるように記載を見直さ、見直したいと思います。そうしておきましょう。
0:38:26	0島根は、応力平均化ってこの使用済み熱鄂ピットぐらいしかなかったでしたっけ。目黒センターに対して、木曾はやってなかったような気がしたんですけどどうでしたっけ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:40	中国電力安川です。タービン建物の基礎スラブでも応力平均化を採用しております。以上です。わかりました。ちょっとその辺の断面検定表なんかとも整合とれるにしといてください。
0:38:58	中国電力吉川です。承知いたしました。以上です。
0:39:02	はい。あとが、
0:39:05	ライダーの話で別紙 5 だから、
0:39:09	資料 5 の資料 6 か 6 ですね。
0:39:14	6 の、
0:39:15	来年の出水チェックしてるんですけど、
0:39:19	これ、
0:39:20	基本的には使用済み燃料ピット等の解析モデルっていうのは、線形シェルですよ。
0:39:27	線形シェルでひずみ 2 調査をしていいっていうのはどういう理由に基づいてますか。
0:39:48	中国電力吉川で少々お待ちください。
0:41:30	中国電力の落合です。ちょっと詳細はちょっと確認させていただこうかと思えますけども、基本的に燃料プールはまず弾性解析でやってますけども、Ss地震時には弾塑性というか、断面力、
0:41:44	断面の内部応力は、終局状態の応力分布を仮定したひずみを算出していると思っておりますので、今回のこの検討でひずみを評価できるというふうに考えてます。以上です。
0:41:58	規制庁の三浦です。ちょっと今のうちはその説明よくわからなかったんですけど、
0:42:07	もともとの解析モデルはこれ線形シェルですよ。
0:42:12	まずそれはいいですか。
0:42:15	中国電力の落合です。線形モデルです。はい。
0:42:20	今やってるのは線形モデルから出てきている。
0:42:25	線形内のひずみですよ。それが共有地のCCV規格、
0:42:31	3.0 ん中のマイナス 3 乗の中に収まるというふうに書かれてるんですが、
0:42:37	今落合さんが言われたのは、ちょっと
0:42:41	意味がわからないもう一度お願いします。
0:42:51	中国電力のオチアイですいませんちょっと説明が、ちょっと詳細はちょっともう一度確認させていただこうかと思っておりますけど今で言った、線形モデルで出てきた断面の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:02	応力自体を線形でも出してますけど、その中の断面力例えばバラバラ分布とかの応力分布で、つり合いを仮定して、その断面内でのひずみを算出していると思ってますので、そこにはその非線形性も、
0:43:18	考慮されたひずみにはなっているというふうに考えます。以上です。
0:43:23	なるほど。だから、あれですかそういう断面力が出てきたときを、
0:43:28	実際線境界でやってるんだけどそれをCCbかなんかの、
0:43:32	泉と何ていうかΣワイプシオン関係の中に落とし込んでるの。
0:43:40	それは何か、等価エネルギーかなんかで、
0:43:45	中国電力のオチアイで、少しちょっと説明が足りておりません。多分、通常のRCCVとかの設計の時に多分Ssの時にはそうやってナカノ、
0:43:55	応力分布をパラボラとかにして、ひずみやってますけど、ただ今回これご説明、よくちょっと確認したら、SDになりますので、そこはパラボラとかではせずに、
0:44:06	単純な線形状態でのひずみを多分算出してることになりますので、ちょっと先ほどちょっと説明したちょっとSsをイメージして、ちょっと説明してしまったので、SDについては、線形でのひずみということになります。そうなんですか。
0:44:22	あれでしたっけ。ライナーはSDSDでいいんだっけ。
0:44:32	中国電力吉川です。資料 6 番 25 ページをお願いいたします。
0:44:38	25 ページの上から 2 段落目、
0:44:42	荷重ケースワーツと書いてある文章ですけども、こちらSD等SD+温度荷重とSsの中で、
0:44:49	衛藤。
0:44:50	比較を行いまして一番厳しかったものの結果で評価をしております。辻井につきましては線形レイエスにつきましては先ほど落合が言ったように、
0:45:02	パラボラ型に置き換えていくということになります。以上です。なるほどなるほど。だから、
0:45:08	あれですがこの中で今SDとSD+温度、あとSSで、
0:45:14	SD地震とSG地震+温度に関しては線形回帰からひずみを求めてある。
0:45:21	生産に関しては、出てきてる断面力からパラボラに置き換えてひずみを出している。
0:45:27	それでもう一番大きかったのはSD+温度荷重なのでそれを、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:32	リニア、リニアな状態弾性状態でのひずみをそこに記載しましたっていうことですか。
0:45:42	中国電力吉川です。ご認識の通りです。以上です。わかりましたわかりました。SSCよりもだけどもあれなんだ。
0:45:51	SD+温度のほうが大きくなるんだ。
0:45:54	これちなみにSsどこになってんですか。
0:46:01	ちょっとお待ちください。
0:46:09	お待たせいたしました中国電力吉川です。27 ページをお願いいたします。
0:46:16	27 ページの表のところ、競り+温度では 0.262 と記載しておりますが、こちらSSになりますとこのあたりが 0.217 になります。以上です。
0:46:29	これ一、規制庁の三浦ですけど。
0:46:33	これ補足なんで、今言ってたようにね、Ssどう出したかってことも含めて、
0:46:40	SD地震SD+温度Ss
0:46:45	もうひずみこちちょっと比較表か何か入れといてもらえますか。
0:46:54	中国電力ヨシカワです承知いたしました。
0:46:57	以上です。はい、じゃあ、よろしく願います。はい。私から以上です。
0:47:06	規制庁の谷口です。
0:47:10	今、
0:47:12	燃料プールのひずみの話が出てたんでそれに関わるはなCなんですけれども、
0:47:19	基本的に今話が出てたように、そのライニングのひずみをどういうふう に評価したかっていうことは分かるようにした、しないといけないんですけど、
0:47:29	言葉としては、具体的に水をするために鉄筋コンクリート製のひずみをライ ナーに生じるひずみとして評価した。
0:47:37	それが今回の
0:47:39	検討のベースだと。
0:47:41	ベースなんですよね、イメージは。
0:47:47	中国電力安川です後、ご理解の通りかと思えます。以上です。はい。
0:47:51	それで、これが現、それが前提だと思うんですけど。
0:47:57	それが前提になる値、そういう考え方っていうものについては、
0:48:03	実はコーセー大南は躯体に直接ついてなくて、支持部材はあって、
0:48:09	その支持部材のところについてる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:12	だけでもオク田井の泉に追従するという形で評価してるんだってということなんですよね。
0:48:25	中国電力の岡です。ご認識の通りとなります。以上です。はい。
0:48:29	そういう前提でいうと、24 ページ目のところに、構成ライナの平面図が書いてあって、
0:48:38	取材も何となく書いてあるんですけども、こういう状況であるっていうことについてもう少し丁寧に書いていただけないかなと思ってるんですけどいかがでしょうか。
0:48:52	はい。中国電力宮岡です。ご指摘理解いたしました。24 ページの支持方法を踏まえまして、25 ページの前提となる部分ですね、燃料プール内面の構成ライナについては躯体に、
0:49:06	追従するためという一文についてもう少し、
0:49:09	記載を拡充したいと思います。以上です。
0:49:11	はい。よろしく申し上げます。それが前提で、構成ライナーは、具体のひずみで評価しましたってことだと思しますので、ちょっとその辺をきっちり
0:49:23	わかるように書いておいてください。
0:49:27	とそれからですね江藤寺中はさっき、先ほどもちょっと話が出てましたけど災害ひずみの要素 27 ページ目のところに書いてあるんですけども、
0:49:38	これについても、先ほどは三浦からも話ありましたけれども、
0:49:43	SD地震と温度荷重の場合と、それからSs II の場合と、
0:49:49	両方書くことは可能ですよね。
0:50:04	中国電力吉川です。先ほど三浦さんからご指摘いただきましたのでその辺りの記載しようと考えております。申し訳ありません先ほど数値が 217 と。
0:50:15	いうふうにお伝えしたんですけども、
0:50:18	こちらに 1 名の引っ張りの値が 217 ということで、圧縮ですと 247 になります。こちらの数値このあたりの数値につきましては再度しっかりと確認して、正しい数値を、
0:50:31	こちらの資料の方に記載したいと思います。以上です。
0:50:35	はい、わかりました基本的に今、もう記載の仕方についてはこちらにお任せしますが、例えばコンター図をつけて、各面のところの最大値がどこだったかってことがわかるようにするもん。
0:50:47	か、まず、災害時のところはこれですっていうのは、一般的にそういう表現をしてるかと思うので、ここの部分の記載を充実してください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:13	中国電力吉川です。
0:51:15	ご指摘ありがとうございます
0:51:18	どこが最大かわかるようにコンター図が何かをつけるように工夫したい と思います。以上です。はい。よろしくお願いします。
0:51:27	それからですね、応力平均化の話。
0:51:33	なんですけれども、
0:51:34	応力平均からの検定ちゅうか、
0:51:39	平均前の県手順で最も大きい値っての 342 という要素が、
0:51:48	これは床、床ですかね。
0:51:51	平面のスラブの 342 というところは厳しいという形になると思うんですけ ど、
0:51:57	6 平均化のこの尼子の応力について、
0:52:01	どうして古閑沖は大きくなってるのかってのは、何となくは書いてあるん ですけど、
0:52:08	要は、RCAの基準に書いてあるからこれやりましたっていう表現が何と なく見えるので、
0:52:17	ここの 56 ページ、僕が言ってるのは 56 ページ目のところの、
0:52:21	応力平均化のところについて、
0:52:25	結局RCAの基準でこういうふうに書いてあるから、それに従ってやりま したっていう記載に近いんですね。
0:52:34	イメージとして、ここの応力が、
0:52:38	どうしてこうなって、これが確かにRGの基準と、
0:52:43	書いてあるものと、
0:52:45	おんなじ表、結構、確かにこの部分が厳しくなってるんだっていうことの 分析をすることを、
0:52:56	どっかに先にした上で、
0:52:59	その結果このRCAのものを引用してやりました。
0:53:04	という記載にできませんか。
0:53:16	中国電力安川です。衛藤 56 ページの、まず、2 段落目。
0:53:22	ですけどもこちらの方 2、2-2 に示すというので、当該部は西西が岡部 南川岡部及びドライウェ佐渡側壁との接続部であり、
0:53:33	応力が集中しやすいという、なぜそこで応力集中が発生しているかとい う分析はここで行っております。
0:53:39	またそのあとの段落で

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:43	鉄筋ひずみが降伏ひずみになっていないという、こちらを確認しております。それを踏まえまして、RCM基準では、
0:53:53	衛藤委員、なかなかかぎ括弧つきで書いてありますけどもこういった鍵括弧つきの
0:53:59	記載はされておりますのでRC基準のこういった記載を踏まえまして、こちら燃料プールで応力平均化を適用していると、そういった文章構成としておりますが、いかがでしょうか。
0:54:12	以上です。
0:54:15	今のところ、わあ、
0:54:21	分析のところと、適用のところをもう少し分けて、きっちり書いてもらえませんか。
0:54:42	中国電力の落合です。ちょっと先ほどの説明とちょっと繰り返しになってしまうのかもしれませんが、56 ページのまず第 1 パラグラフと第 2 パラグラフのところですね、ここについては、局所的な応力集中が発生しやすい。
0:54:58	ていうことの、要は、分析とか理由とかですね、そういったことを書いてますんで、
0:55:04	3 パラのところで、3 パラのところで、まずそこが曲げ降伏状態には至ってないということで、まずこれが当社の今の応力解析の結果の前段の部分になりますんで、
0:55:17	途中のRCM基準のところからが平均化することの考え方として、記載している。で、こちらについては他の平均化する、してる。
0:55:27	当期の説明と共通的な説明になります。最後、
0:55:32	以上よりってことで、平均化する要素の厚さ、
0:55:36	に対して厚さの範囲で平均化するという結論的なものを書いてるということで、一通りの
0:55:42	応力状態のこの今回のプールの解析結果の分析と、平均化することの適用性と、それに対する結果ということで流れとしては一通りのことが、
0:55:53	書いてあると考えておりますけどいかがでしょうか。
0:56:11	応力解析において応力の再配分したっていうのをまず大所の平均化をしてるっていうことが書いてあるんですよね。
0:56:18	それからその応力平均化した結果として、
0:56:22	元がこの程度でおさまってる。
0:56:27	交付に至ってない。
0:56:31	だから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:33	だから次が、
0:56:36	主N基準と適用、
0:56:40	この考え方が適用できるってことが書いてありますか。
0:57:07	中国電力の落合です。ちょっと小関のところが少し私理解できてないところもあって申し訳ないんですけど、まず最初の第1パラグラフのところの局所的な応力集中が発生しやすい形状になって、プールのところが繋がってるってことと、
0:57:21	第2パラのところには、コンター図見ると、やはりそういうところの応力集中しやすい接続部分で発生していますと、で、ちなみに今回応力再配分に期待して、応力平均化をする範囲においては、
0:57:34	曲げ降伏状態に至ってないことを確認していますというここまでがまず、このプールに対する解析結果の分析というふうな、
0:57:42	いう説明を記載したところになります。以上です。
0:57:45	はい。そこはわかりました。それで、それを今回のR製の基準等適合性があるので、これ大津、これ、この判断で、
0:57:56	平均化する。
0:57:59	ということになるわけですね。そうすると、
0:58:05	中国電力の落合ですご理解の通りです。以上です。はい。基本的にはわかりましたけど、ちょっとその辺は分析の部分と、適用性の部分っていうのはちょっとわかり引っ張ったんで、
0:58:17	ちょっと聞かしていただきました。わかりました。以上です。
0:58:36	規制庁のミウラですけど、ちょっと先ほど言い忘れてしまったんですけど、
0:58:42	ライナのひずみの話ありましてね資料6-27ページ。
0:58:48	SDとか他のSsなんかも書いてもらうってことなんだけど、これ会社計画圧縮ひずみですよこれSD+温度。
0:59:06	中国電力吉川です。こちら27ページ表4-1に記載しておりますのは引っ張りになります許容値が、その前のページですね26ページの3行目。
0:59:17	を見ていただくと許容値が引っ張り3点、引っ張りで3点での、
0:59:21	足利5.0ソウダとか、許容値が引っ張りだから3.0で出てるってことか。
0:59:27	なるほどなるほどだこれやっぱり決まってるんだ。
0:59:30	整数のときには圧縮ひずみが卓越するってさっきちょっとご説明されたんでしたっけ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:38	中国電力、吉川です。五輪ご認識の通りでSsの場合ですと、引張ひずみより圧縮ひずみの方が大きくなりますので、
0:59:48	最大を書くとなると、Ssの場合は圧縮を書くことになるかと思います。以上です。わかりました。温度を入れて、引っ張りのほうが大きくなるってのはどういうことなんだろうな。
1:00:03	中部電力吉川です。申し訳ありません。今ほど圧縮の方が大きいと申し上げたんですけどひずみの値としては大きいんですけども許容値に対する
1:00:13	余裕度としますし、を考えると、
1:00:17	引張と圧縮で許容値が違いますので、
1:00:20	検定値的に言うとどちらが厳しいかというのをちょっと今計算しておりませんので、
1:00:25	うんわかりました。それもあれですよ。解析結果と許容値、これの一番、何ていうかな、余裕が少ないところを、今度ちょっと併記して書いていただけるっていう理解でいいですよ。
1:00:44	中国電力吉川です。ご理解の通りでそのように資料を修正したいと思います。すいませんお願いします。小野塚だから教授の方を見れば圧縮で出てるか引っ張り出てるかわかるっていうことですね。
1:00:59	中国電力ヨシカワですご認識の通りです。多分だから、これその温度が入ってくるんで述べようとするんで引張が強くなってるのかな。わかりました。ちょっと記載、追加お願いします。はい。私から以上です。
1:01:17	はい。規制庁木田です。他、確認する点がある方はいらっしゃいますか。
1:01:25	規制庁津金です。6番の資料の今議論していた、25ページのところなんですけれども、ウォール5と書いてあるものが、一番大きい応力で結局、27ページの方に、
1:01:39	図として切り出してるんですけども、
1:01:42	これ440の要素っていうのは、
1:01:46	北側の一番端っこ25ページで言うところの右下隅ということでよろしいですか。
1:01:59	中国電力の府川です。ご認識の通りです。以上です。規制庁津川です。
1:02:04	図がですね、25ページと27ページでちょっと高校が逆になったので、
1:02:11	一瞬、
1:02:14	南側の下の方が厳しいのかなと思ったんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:18	どう表すか、なんですけど合わせておいたほうがわかりやすいかなと思いました。以上です。
1:02:32	中国電力安川です。
1:02:35	ご指摘ありがとうございますちょっと向きがわかりにくいということがありますので、結果の評価結果の図 4-1 の方にですね、
1:02:45	25 ページの図 2 の一位を、の、
1:02:49	小さいものを少し載せまして、そこにこの要素が、
1:02:53	ていうのがわかるように、
1:02:56	図を図 2-1 のもので図示したものを、
1:03:00	図 4-1 の方にも併せて載せたいと思います。以上です。
1:03:04	規制庁柘植です。
1:03:06	25 ページの方に、例えばその要素番号入れといていただければ図をあえて 27 ページつけなくても大丈夫かなと思いますんで 25 ページと 27 ページが、
1:03:15	対応できるようにしていただければ結構ですのでよろしくお願いします。以上です。
1:03:32	と今の話の延長線ですけれども、先ほど 27 ページ目を書いてあるところの、
1:03:39	最大ひずみの要素の 1、440 万っていうのはオール 5 の、
1:03:44	一番下のところの要素だってことは、これは、
1:03:50	底面スラブのラック体内に入ってるライニングのことを、
1:03:55	記載されてるってことですか。
1:03:59	中国電力安川です。
1:04:04	底面スラブの躯体の部分はこちらの図 4-1 には図示しておりません。こちらの 440-1 は、
1:04:12	図 25 ページの図 2-1 で言う、グレーでハッチングしてあるし、要素の一つ上の部分になります。以上です。
1:04:26	派兵とか、
1:04:28	なかったと。
1:04:30	わかりましたそうすると、オール 5 の一番下のところの要素の部分は、底面スラブの躯体のところを表現してないってことですねイメージは。
1:04:42	中国電力安川です。ご理解の通りです。以上です。はい、わかりました。ちょっとねそういうことでいうとうそ、その辺、
1:04:53	間違っちはないんだけど、オール 5 っていうのは今で言うと、この 26 番でいうと、下まで入ってるように見えるので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:04	記載してないんだったら記載してないと書くなり、何か表現の仕方を、例えばレベル押さえをすとかね、そういうふうにするか。
1:05:13	ちょっとわかるようにしておいてください。
1:05:20	中国電力吉川です。図の方を工夫させていただきたいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。以上です。
1:05:36	はい、規制庁チギラです。他、
1:05:40	よろしいでしょうか。
1:05:43	すいません。私から1点だけ資料①のですね、詳細設計文字送り事項の37番で、これ、先ほど説明があったりとかミウラとのやりとりもあったと思うんですけど、
1:05:57	令和2年の3月10日の審査会合で、こちらから、こちらとしては、そのSDと組み合わせる、基礎スラブで組み合わせるのは温度荷重が、
1:06:09	あるっていうなんかそういう認識で話をしていたんですけど、詳細調べたら真木工認でもSDと温度荷重を組み合わせた評価はやってないってということで今回改めて説明、回答いただいたと。
1:06:24	そういった理解でよろしいでしょうか。
1:06:28	中国電力のオチアイですご理解の通りで、我々も認識しておりますちょっと少し、機構のところの条件をですね確認して、基本的に既工認と合わせた条件で今回もちゃんとSDに対する評価をやっておいてくださいというのが、ご指摘の趣旨だと理解しております今回、そこも調べて、
1:06:46	今回SDに対する評価を温度荷重なしの条件で実施したと、いうふうに整理しております。以上です。
1:06:53	はい。規制庁チギラです。わかりましたありがとうございます。一方で今、申し送り事項のナンバー29で、後日回答となっているポンプピットのところ、
1:07:04	については、これは既工認では、
1:07:08	エスワン。
1:07:09	ですかね。地震の荷重と温度の荷重が組み合わせていたのかどうかその辺りも含めて検討して、
1:07:19	その内容を後日回答いただくということでよろしいのでしょうか。
1:07:40	少々お待ちください。
1:08:13	中国電力ヨシカワですお待たせいたしました。土岐工認ではピットの底盤の評価を行っております、そこに使う応力ですね、外力が、
1:08:24	今回工認と変わっておりますのでそこを今回工認の外力にしたものでピット底盤の評価を行う予定です。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:37	はい。わかりました。では、そそちらについては外外力が変わったということで、後日、そちらの資料について説明があるということで理解しました。
1:08:48	私から以上ですが他、
1:08:56	はい。規制庁チギラです。こちらからの確認は以上となりますが、中国電力の方から、追加で補足等ありますか。
1:09:07	中国電力の落合です当社の方から確認事項等ございません。以上です。
1:09:12	はい、わかりました。それでは午前中のヒアリングの方を終了いたします。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。